



発行／特定非営利活動法人朝倉川育水フォーラム

〒440 - 8508 豊橋市花田町石塚 42-1 豊橋商工会議所内

Tel 080-6923-5257 URL <http://www.asakuragawa.net>Fax 0532-53-7210 E-mail [hotaru@asakuragawa.net](mailto:hotaru@asakuragawa.net)

## 令和5年度朝倉川育水フォーラム

## 定時総会開催

令和5年6月3日（土）令和5年度の定時総会を開催。  
令和4年度事業報告、決算報告、役員選任、令和4年度事業計画予算案について討議可決されました。

前日からの大雨で開催を迷いましたが、朝方、全ての警報が解除されたのと、ピオトープの状況を見て実施致しました。

無事に総会議案の全てをご承認いただきましたので、気持ち新たに本年も有意義な活動を展開して参ります。

総会后、恒例の田植え&サツマイモの作付けも行い、とても楽しい時間となりました。  
本年も、朝倉川育水フォーラムを宜しくお願いします。



今年度の活動内容の詳細です。

平成7年の創立以来27年目を迎え、河川を中心とした自然環境の保全に向けて活動している私たちにとって、事業の継続性ということは大きなテーマとなってきます。

## 活動方針

組織そのものの「持続可能性」にむけて、組織の増強や運営面の見直しなどを具体的にやっていかなければならない時期に来ています。そのためにも、現在行っている事業を更に進化させそれを支える人たちが多く集えるような様々な試みをしていきます。

## 【活動計画】

- ピオトープ事業や河川調査などを中心に、多くの子どもたちが自然に触れ合う場面づくりの充実
- 井原第二公園のゲンジボタル再生のため、地域と協働していく仕組み
- 法人会員を中心とした会員増強と会員サービスの強化
- 「朝倉川通信」、ホームページ（スマホ対応など）、SNS等様々なツールを活用した、地域への活動に対する理解の促進
- 副理事長・委員長主導による事務局を含めた各種作業の効率化にむけての見直し
- 30周年記念誌発行及び朝倉川流域ビジョン作成の実行委員会設置





## 絶滅危惧種川ガキの再生



東三河ヤクルト販売（株）代表取締役社長 高橋豊彦

特定非営利活動法人朝倉川育水フォーラムの会員には、活動の理念に共感して一緒に活動する個々の会員だけでなく、様々な事業者が法人として関わる法人会員という制度があります。

私も、朝倉川育水フォーラムの活動に法人会員として、関わりはじめて 20 年ほどになるかと思いません。とはいえ、全社で積極的に活動に関わるという大層なものではなく、活動の理念に対して側面的に関わっているというのが実態です。

SDGs という言葉が、社会で叫ばれるようになり、その中でも環境保全活動は大切なテーマのひとつです。また、朝倉川育水フォーラムの活動の特色のひとつとして自然環境の保護第一主義ではなく、「ホテルが飛び交う人里づくり」を象徴としたパートナーシップを大切にしたい社会を目指しているところにあると思います。

環境保全活動を継続的に行なっていくには、分からないものを、分からないままに置いて、時間の経過とともにどのように変化するかを楽しむチカラが必要です。そこには、人間社会の関わり方・・・そして、その社会の変化も大きな要素として表れていくということはよくよく考えれば当然のことになります。

考えることと行動することとの間には、深く大きな溝があります…。子どもたちは、その溝を、ある意味軽々と越えていったりするものです。大人が、「常識という鎧」をかぶることで、跳び越えることのできない溝です。

子どもが変われば、大人が変わる…だからこそ、「子どもたちの体験を持続可能なチカラに…」なのだと思います。大人たちの姿も子どもたちにとっては、大きな体験です。

子どもたちは、大人たちが言うようにはしない。大人たちがするようにする。

子どもたちと大人たちは、こうして成長し合っている…と考えれば、会員企業にとっても、このような活動との関わりは意味のあるものだと思います。



「絶滅危惧種川ガキの再生」…わたしたちも実践に向けてこれからも、ご協力させていただきます。

# 第 27 回 530 大会

15日（土）が雨天のため順延になったの实施になり、参加出来なかった団体さんもありました。



実施日	4月16日（日）
参加者	750名
参加団体	33
学校	0
行政	5
自治会	10
団体	6
企業	12
ごみの量	606kg（昨年 1,343kg）
大きなごみ	
自転車	1
テレビ	4
タイヤ	1
その他	6
うめるゴミ	1kg
危険ゴミ	1kg

## 次回は 2024 年 4 月 20 日（土）予定

来年もたくさんの皆様ご参加ください。







# 朝倉川へのメッセージ



今年も例年のように530大会の併催イベントとして「朝倉川へのメッセージ」を募集しました。小中学生の環境への関心の高さが感じられる作品が多くありました。応募総数は542点（昨年594点）その中から最優秀賞4点、優秀賞6点、入選11点の作品が選ばれました。

## 最優秀賞



<尾崎未侑>



<杉浦末紗>



<竹林優希>

## 優秀賞



<鈴木美音>



<今村陽依>



<豊田暁丞>



<村田梨緒>



<山本侑紀>

### 「東田小学校さん課外授業」

5/25 東田小学校の4年生の授業を競輪場前で行いました。水質調査、流速調査、生物調査、加えて、子どもたちの日頃の行いが良かったのか、なかなか手網には入らない清流の指標となるアユを見つけました。子どもたちの体験を持続可能なチカラに！をスローガんに、今後も青少年育成事業に力を入れていきます。



<根木逢花>



<長野未侑>





入 選



<木村那々実>



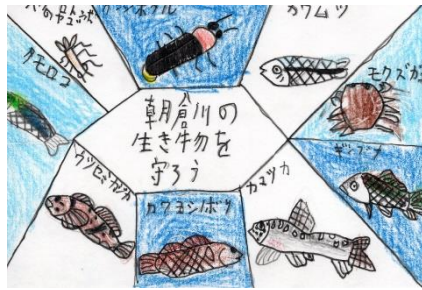
<伊藤瑚心妃>



<岡本 優>



<タナバットピッチャー>



<平尾知士>



<河合美祈>



<星野竜慶>



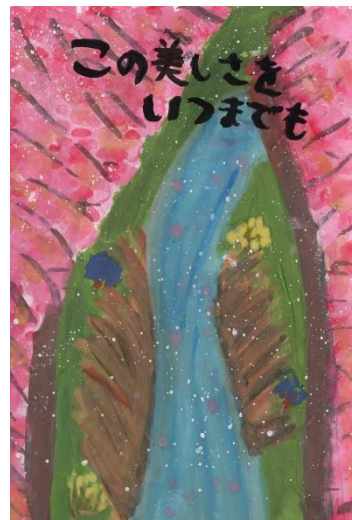
<和田莉奈>



<村瀬 晴>



<吉浪緋萌里>



<渡部凜玲>



毎年3月初旬、滝ノ谷池ビオトープへ可愛らしいアズマヒキガエルたちが産卵にやってきます。このビオトープ



を代表する生き物のうちの一種ですが、近年急激に数を減らして絶滅が心配されています。暑いのが苦手なアズマヒキガエルにとって地球温暖化が影響しているのは間違いないとは思いますが、一番の問題はウシガエルやアメリカザリガニといった外来種による捕食になります。

ビオトープのアズマヒキガエルは平均して一腹2,000~4,000個程度の卵を産みますが、そのオタマジャクシは国内在来カエル最大の成体とは似ても似つかない、小さくてひ弱な最弱カエルの状態で産まれてきます。そのようなひ弱な状態ですので、餌の乏しいこの時期にあっては、そういった冬眠明けの大食漢な外来種たちに徹底的に食べられてしまいます。勿論、在来種のミナミヌマエビやスジエビにも捕食はされますが、微々たる量で全滅するほどは食べられません。令和2年から遡る事5年はオタマジャクシからカエルとなって上陸する個体を確認できていない状況を顧みて、令和3年度から保護ネットで仕切りを設けて保護をし、少しずつでも上陸個体を増やして行っています。

アズマヒキガエルは、概ね上陸した場所へ産卵に戻って来る習性があり、なかなか他の場所から大きく移動をしないので、今ビオトープに来てくれている一握りのアズマヒキガエルが絶える前に若い個体が確認できればと思っています。産卵できる成体までは3年程度を要しますので、来年あたりから産卵に来る若い成体が増える事を願いつつ、持続可能な繁殖スパイラルが確保されるまで保護を継続していきます。



### 5/28 第20回身近な水環境の全国一斉調査

本日は朝倉川の下流から上流までの定点4ヶ所で、全国一斉河川調査と併せて水質&生物調査をしました。各種指標はそれなりに良好な状態でしたが、COD（科学的酸素要求量）が少し高めだったのが気になりました。



降水量の少なさや、背側地である田植え最盛期の田園からの流水などから、一時的に植物プランクトンなども含む有機物が増えたのではないかと推察しています。

本日も素敵な生き物たちとの出会いがありましたので、水質調査状況と併せて写真でご紹介させていただきます。

お手伝いに駆け付けて来てくれた、時習館高校生物部&桜丘高校生物部の皆さん、本当にありがとうございました。



## 第20回植樹メンテナンス大会

令和4年11月12日（土）第20回の植樹メンテナンス大会が実施されました。

20団体400人の参加がありました。



秋晴れの天気の中、わずか1時間の作業で朝倉川の対岸を見渡す事が出来る気持ちのいい散歩道となりました。

2023年度は

11月11日（土）予定





## ご寄付をありがとうございました

三菱UFJ銀行様より50万円のご寄付を頂きました。  
いただいた寄付金は、環境保全活動をはじめとする我々の運営において、大切に使用させていただきます。

ご寄付を頂いたご縁をきっかけに、三菱UFJ銀行さんの総勢50名近くの方にピオトープで除草をメインとした整備作業をしていただきました。

里山整備作業時に出た笹や淡竹の残材を回収するチームと、川沿いの除草をするチームとの2班に分かれて作業をしてもらいました。

作業後には焼き芋やパンを焼いて食べたり、里山を散策したり、とても有意義で充実した時間となりました。

三菱UFJ銀行豊橋支店を中心とする各支店の皆さま、お疲れさまでした。



## \*\*\*2023年朝倉川探検隊\*\*\*

7/30は朝倉川を目一杯堪能する、とても楽しい1日になりました。

朝からは毎年恒例の、会員と市民とで朝倉川の水質や生き物たちを観察する朝倉川探検隊。

※東三河生態系ネットワーク協議会の、愛知県生物モニタリング調査も兼ねました。



その後は上流へと移動をして、先の大豪雨災害で赤岩寺から流出してしまった「鯉の救出大作戦！」を、多米校区自治会と協力をして行いました。  
※赤岩寺にとっては大切な鯉、しかしながら朝倉川に在ってはゲンジボタルをはじめとする在来動植物を食べてしまう厄介な存在…

ご参加、ご協力いただいた皆さま、本日はありがとうございました。



# ビオトープ便り・2023

畑づくりも始まり、ビオトープの春から夏は草との闘い。たくさん子どもたちも作業に加わって、いつの間にか生き物観察会になったり、おやつ作りになったりと楽しい時間を過ごしています。



<かまどで焼き物>

<柿の木の剪定も任せて！>

<カワヨシノボリ>

<畑作業してま〜す>



遊びにきてね



<シュレーゲルアサガエルの卵を探して>

<田植えの準備>

<幻の水場発見!!>

<オバボタル>



<田植えの最初の作業>

<雨の日の作業は管理棟の整理整頓>

<ビオトープの水路の清掃作業>



<桜丘中学校、ビオトープ 授業>



<野草を食べる>

ビオトープの上流にある沢。さらに上流には不動滝がありました。徳合長者の伝説があったり・・・探検できそうな所です。



事務局より・・・  
会費納入のお願い

会費のお振込みがまだの方、ご入金をお願い致します。お近くの理事にお渡し頂くか直接事務局までお届けください。



**\* 全てのお申込み・お問い合わせは \***

特定非営利活動法人朝倉川育水フォーラム

〒440-8508 豊橋市花田町石塚 42-1

TEL 080-6923-5257

FAX 0532-53-7210

URL <http://www.asakuragawa.net>

E-mail [hotaru@asakuragawa.net](mailto:hotaru@asakuragawa.net)